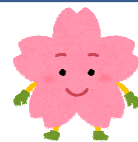


青葉区フードバンク通信



ミニ私設図書館の「夢見堂」での食品配布がスタートしました！

町田市は横浜市青葉区に隣接し、人々も近隣の飲食店や商業施設などへ気軽に行き来しています。その町田市鶴川の住宅地に、蔵書が約2000冊のミニ私設図書館「夢見堂」が2017年に開設され子ども達に親しまれています。主宰は都内の私立高校で永年国語科の教師をしていた女性で、寺子屋も開いています。時折大人向けのカルチャーセミナーも開催され、遠方からも受講者が集まって来ます。

その「夢見堂」がこの度国際文化交流研究会のパートナーとしてフードバンクのステーションを担うことになりました。「しんどい人はいつでもいらっしやいね」という呼びかけが記載されたチラシが近所や関係者に配られています。夢見堂で定めた「フードバンク



↑子供向けの絵本だけでなく、大人向けの書籍もある夢見堂。

の日」に合わせて当会は食品を配達し、必要な人々やフードロス削減に理解ある方々が三々五々取りに訪れます。

また、主宰のご主人は鍼灸マッサージ師として活動をされていますので、独居高齢者を訪問診療の際食品を手渡して下さいます。

食品を受け取った方々からは感謝のメッセージが寄せられ、当会の励ましになっています。

●夢見堂

町田市鶴川4-17-16

問い合わせ：keiko.i.2532@gmail.com（稲津さん）



「夢見堂のフードバンクには、「フードロス削減を学ぶきっかけにしたい」という方も来場。」

主なフードバンク活動の記録

★「令和3年WAM助成」に採択され活動中です★

【第11回】9月8日（日）青葉区・桜を愛する会

【第12回】9月9日（月）鴨志田地域ケアプラザ

【第13回】9月10日（火）夢見堂

★今後の食品配布会の開催予定★

10月10日（日）青葉区・桜を愛する会

10月11日（月）鴨志田地域ケアプラザ

10月12日（火）夢見堂

※食品協力：みんなのフードバンク

編集後記 新型コロナウイルス感染者減少という報道が続き、10月1

日に緊急事態宣言が解除されました。幸い、解除後も感染者の数字は減り続け、皆ほっとしている様子です。第6波が懸念されますが経口治療薬の開発やワクチン接種がかなりの度合いで行き届くなど、希望が持てる情報が多くなりました。当会は1年半以上「三密を避ける」ためにセミナーや集会の開催を控えて来ましたが、今後は様子を見ながら少しずつ活動再開の準備を致します。まずは、せっかくご縁を頂いた「夢見堂」でSDGsやフードロスに関連したミニセミナーの開催を、十分な感染予防対策を講じた上で企画致します。当会の活動歴の中には各国の食文化紹介講座やそれに伴う交流などもあり、多くの子ども達も参加しています。（園）